

# 1 身の安全の確保・避難



災害時、まずは  
**自身や家族の身の安全確保を第一**に考えてください（自助）。

## 大規模地震の場合

### ●自身や家族の身の安全確保●

身を守る。  
家族の安否確認。  
ガスの元栓を閉める。  
電気のブレーカーを切る。  
周辺の安全を確認して避難。  
非常持出袋の持出。



### ●隣近所の確認●

- 火災の発生、倒れた家具などに挟まれた人がいないかなどの確認。
- 対応に人数等不足する場合は「地域の集合場所」へ行き、支援要請を行う。



### ●「地域の集合場所」へ●

消火器や救出に必要な器材を持って



## 水害（洪水、土砂災害）の場合



**避難準備情報  
勧告  
指示**



**避難所へ**



### ●初期消火、救出・救護、安否確認●

- 地域内の出火確認・初期消火、救出・救護。
  - 「地域の集合場所」で点呼・安否確認。
  - 行政区の班単位で確認し行政区単位で情報統括。
  - 可能な限り消防団との連携のもと、「地域の集合場所」に集結した住民を中心とした救出・救護活動、安否確認の継続。
- ※自宅が無事な場合…帰宅

### ●避難誘導●

区・組・班単位で、周辺の安全に気を付けながら避難所へ移動。要援護者への避難支援。



浸水時における  
夜間の場合  
河川と道路の境界や  
マンホールの蓋が  
見えない場合



一時的に  
2階以上に  
待避する